

男鹿真山伝承館：実演 終了挨拶

ご観覧ありがとうございました。お帰りになる前に、ナマハゲにまつわるいくつかの点について思いを巡らせていただければと思います。まず、大きな物音を立てて戸や壁を叩くのは、家から厄や穢れを祓うため、それにより来たる年に家族に悪い影響がもたらされないようにするものです。衣装から落ちる藁はこの清めの力の象徴とされています。どうぞお帰りの際にお持ちください。

先ほどもお話しした通り、ナマハゲの伝統は男鹿地方の90の集落で伝承されており、真山もそのうちの一つです。真山には60軒ほどの民家がありますが、ナマハゲの2人組は10件ほどしか訪問できません。訪問のたびにお酒を振る舞われるからです。

最後に、ナマハゲが躍起になって規律や勤勉さを主張することは今日では少し不思議に見えるかもしれませんが、19世紀の男鹿のような、厳しい環境下の伝統的な農業共同体では、全員が貢献できるかどうかの生死の分かれ目になることもありました。私たちの時代において、ナマハゲはまた自己規律の重要性を見失わないようにと戒めているようにも見えます。